

HIC 通信

Hiroshima International Center

Vol. 79
January 2013

新年明けましておめでとうございます。本年も（財）ひろしま国際センターをどうぞよろしく願いたします。

「グローバル人材」について広島の実業人と語り合いました！



11月23日(金)に「ひろしまグローバル人材養成講座」の第5回目を開催しました。県内企業から4名の方をお招きし、「企業の求める人材」「グローバルな人材とは」をテーマに、グループに分かれ企業人の方々の経験談をもとにじっくり語り合いました。

広島ガス株式会社 代表取締役 社長執行役員 田村興造様、マックスバリュ西日本株式会社 海外事業推進室長 中村祐二様、マツダ株式会社 人事室 副室長 竹内雄司様、株式会社広島銀行 法人営業部 国際営業室 末次功様の4名の方にお越しいただきました。入社以来チャレンジと協働の連続であったこと、海外からのLNG（液化天然ガス）導入プロジェクトにまつわる経験談（田村様）、人事採用部門での20年以上のキャリアから語られる「企業の発展力は人である」エピソード（中村様）、「外国人と協働して成果を上げる人材」についての米国での赴任経験談（竹内様）、タイのバンコク駐在員事務所をゼロから立ち上げた経験談（末次様）などが語られ、受講生から質問が相次ぎました。



グループワークの最後に受講生ひとりひとりが感想を発表しました。「国内で通用しない人は海外でも通用しない。」「新しい環境や自分と違う考えに遭遇した時こそ成長のチャンスである、と楽しめる心を持ちたい。」「様々な出合いを心がけ、人間力を磨きたい。」などの声が聞かれ、普段接することのできない企業人とじっくり語り合えた経験は、大きな刺激、感動になったようでした。

(佐藤)



広島ガス株式会社
代表取締役 社長執行役員
田村 興造 様



マックスバリュ西日本株式会社
海外事業推進室長
中村 祐二 様



マツダ株式会社
人事室 副室長
竹内 雄司 様



株式会社広島銀行
法人営業部 国際営業室
シニア・マネージャー 末次 功 様

◆ 目次

2面	交流部だより 他
6面	国際プラザニュース
7面	こちらJICAデスク
8面	サミット加盟団体だより

9面	Upcoming Events News
10面	国際交流ひろば 他
11面	Hello Hiroshima
12面	HICからのお知らせ 他

～第2回奨学生交流会を開催しました（留学生奨学金支給事業）～

11月29日(木)、本年度の留学生奨学金受給者（以下、奨学生）と支援いただいている企業・団体の皆様、大学関係者など総勢約120名が一堂に会し、交流を深めました。

今年度2回目となるこの交流会では、奨学生を代表して3名の方に各々の留學生活についてスピーチいただき、1名の方に母国文化である中国の古典舞踊「水袖」を披露頂きました。スピーチでは、広島に留學した経緯や生活の様子、学業や就職活動のみならず支援企業や地域との交流活動等にも積極的に参加している様子が語られ、参加者はみな熱心に耳を傾けていました。

また、企業・団体を代表して、三島食品株式会社 社長室 広報担当の反田様から、日本と母国の友好の懸け橋となるべく頑張っている奨学生たちに激励の言葉をいただきました。企業・団体、大学をはじめとする関係者の皆様、ありがとうございました。（地主）



テーブルごとに記念撮影



発表者のみなさん
(左からチャンさん,趙さん,梁さん)



「水袖」を披露する任さん



三島食品(株) 社長室
広報担当 反田様

お詫び 前号 (Vol.78) 3頁の記事に誤りがございましたので、訂正してお詫び申し上げます。

「企業等協力奨学金制度」協力企業・団体一覧に、本年度ご協力いただいた「西川ゴム工業株式会社」様の社名を掲載しておりませんでした。心よりお詫び申し上げます。

～留學生活躍支援センター活動報告～

ベトナムで広島県内の教育機関がまとまって留學のための説明会「広島県留學フェア」を初めて開催しました。広島大学、広島修道大学、広島国際大学、広島YMCA専門学校、ひろしま国際センター研修部、当センターのスタッフを合わせた12人に加えてベトナム人留學生が現地の學生たちに大学等の紹介、広島県の留學・生活環境についての説明や相談を行いました。

このフェアは、9月22日(土)にホーチミン市のベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学で、23日(日)にハノイ市のベトナム日本人材協力センターで開催し、それぞれの会場を訪れた280人、114人という多数の學生諸君にアピールすることができました。

将来の進路に関するアンケート調査結果では、學生たちの約6割が、日本で就職することを希望していることが分かりました。今回の活動により、広島県内の学校へ留學して来るベトナム人留學生が今後増加することが期待されます。(空)



ホーチミン市校人文社会科学大学



ベトナム日本人材協力センター



留學フェアの案内看板

～ひろしま国際交流サミット 備北地域分科会・備後地域分科会を開催しました～

11月21日(水)に三次市で「備北地域分科会」を、30日(金)には福山市で「備後地域分科会」を開催しました。

県内の国際交流団体やボランティアグループ間の情報交換や活動促進を図るもので、「備北」では、多文化共生事業を推進するためのネットワークの構築や拠点づくりの必要性について、「備後」では、国際交流拠点の必要性や在住外国人への情報提供などについて、活発な意見交換がされました。次のステップにつなげようとする気運も感じられ、有意義な会合となりました。(大辻)



備北地域分科会の様子



備北地域分科会の様子

～「国際交流・協力の日」に出展しました～

11月18日(日)に広島国際会議場(広島市中区)で開催された「国際交流・協力の日」で、「地球ひろば」を運営しました。このイベントは、「学び」を基調として子供から大人までみんなに楽しみながら外国文化に触れ、興味を持っていただくことが目的です。当センターでは、「なかよしひろば」を出展し、世界各国のあいさつクイズや当センターの紹介・やさしい日本語について展示しました。

「地球ひろば」では、予想を上回る約450名の方に来場していただきました。

来年も来場者の皆様が「世界を心と体で感じ、楽しめる」企画を考えていきたいと思います。(河内)



外国の方と楽しくフリートーク!



世界のあいさつクイズの様子

～「スポーツGOMI拾い inひろしま」で優勝しました～



優勝した「ひろしま国際センター
"シンチャオ"チーム

10月13日(土)、決められたエリアで制限時間内にチームで集めたゴミの質と量を競い合う環境貢献活動「スポーツGOMI拾い inひろしま」(広島ホームテレビ地球派宣言主催)に当センターからの呼びかけに応じた4チーム20名が参加しました。メンバーは、当センターの「ひろしまグローバル人財養成講座」受講生や、当センターから奨学金を受給している留学生の混成チーム。5人が1チームとなり、路上や公園のゴミ拾いを楽しみました。結果は、素晴らしいチームワークを発揮し、1時間で約24kgを集めた「ひろしま国際センター"シンチャオ"チーム」が25チームの中で見事優勝しました。国境を越えて協働した後の参加者にはすがすがしい笑顔が見られ、参加者同士のメールアドレスを交換するなど交流が深まったようでした。(佐藤)

～「医療通訳について考える講習会」を開催～

「医療通訳について考える講習会」を当センターで2回連続して開催しました。

第1回目11月3日(祝)は、神奈川県で10年以上医療通訳派遣事業を行っている“MICかながわ”(特定非営利活動法人 多言語社会リソースかながわ)をお招きしました。

第1部で、医療関係者から見た医療通訳の必要性とMICかながわの活動について説明していただきました。第2部では、実際に受講者に医療通訳を体験してもらいました。受講者の皆さまは熱心に取り組んでおられました。

第2回目11月16日(金)は、大阪大学大学院人間科学研究科教授・医療通訳士協議会会長・小児科医でもある中村安秀講師をお招きしました。ご自分の幅広い知見から、医療通訳の現状についてお話いただきました。その後は、多言語センターFACIL理事長の吉富志津代講師ファシリテーターのもと医療通訳について考えるワークショップを開催しました。

遠くは大阪や四国からの参加者もあり、両講座を通じて、受講者の活発な発言や医療通訳経験者が多いこと、従事者が守秘義務や責任感を一人で抱え込んでいる現状がわかりました。総じて「医療通訳」の関心の高さに事務局も驚く結果となりました。(野口)



受講者の医療通訳体験



中村講師の丁寧な講義



吉富講師とワークショップ風景



講師と受講者との歓談

「ボランティア通訳ガイド講習会」を開催

11月25日(日)、宮島でボランティア通訳ガイドの講習会(英語)を開催しました。講師を“ひろしま通訳・ガイド協会”からお招きし、午前には宮島の歴史やガイドのポイントを座学し、午後は実際に現地を歩いて、講師のコメントを受けながら実際の通訳ガイドに挑戦しました。好天と美しい紅葉に恵まれ、充実した1日となりました。(野口)



混雑をさけて山辺を移動



途中で出会った鹿



参加者もガイドに挑戦



最後講師からの講評

～外国人相談窓口担当者研修会の開催～

9月28日(金)と10月26日(金)に第3回及び第4回の外国人相談窓口担当者研修会を開催しました。

第3回は(財)仙台国際交流協会から菊池哲佳氏をお招きし、昨年3月11日に発生した東日本大震災での経験をもとに「震災時の外国籍住民支援の実際と課題」について講義いただきました。

震災の発生前から準備してきたことや、実際に活動されて課題だと感じたことを中心にご説明いただきました。広島県でも災害ボランティアの育成について必要性を感じさせられました。

第4回では、日本語教室へ積極的な支援をしている呉市から、呉市消防局の森島和雄氏と呉市教育委員会の小池央子氏をお招きし、「日本語教室における防災教育の試み」と「日本語教室支援の実際」というテーマで自治体としてどのような取り組みをしているか、実践例をもとに講義いただきました。呉市の異なる組織が同じ日本語教室に対してどのような支援をされているか、ご説明いただき他市から参加された方も大変参考になったと思います。(大藤)



第3回の様子



第4回の様子

HIC外国人総合相談窓口 専門相談員紹介

HICは広島県内で暮らす外国人の皆様が、安心して暮らしていただけるよう「外国人総合相談窓口」を開設しています。

この窓口では、在留資格や社会保険・労働問題などの専門的な相談や暮らしに関する相談を、中国語をはじめとする6カ国語で提供しています。71号(平成23年1月1日発行)より、窓口で相談業務に携わる専門相談員の方々をご紹介しますが、今回は第7弾をお届けします。

【相談体制】



外国人総合相談窓口

**相談時間 (火・木) 10:00~12:00, 13:00~16:00
(土) 9:30~12:30**

(専門分野)

在留資格(ビザ他), 社会保険, 労働問題

(通訳)

- ・中国語
- ・韓国語 (木)午前のみ
- ・英語 (土)午前のみ
- ・ポルトガル語
- ・スペイン語 (木・土)午前のみ
- ・フィリピン語 (火)午前のみ

フリーダイヤル 0120-783-806
携帯電話からは 082-541-3888 (直通)

①名前(ふりがな): 福島 今日子(ふくしま きょうこ) / 国籍: 日本

②専門分野: ビザ・永住・帰化など

資格: 行政書士・宅地建物取引主任者

③専門分野に取り組んだきっかけ

きっかけは10年前です。当時弁護士事務所に勤務していましたが、入管法違反で逮捕された外国人の方の事件を担当することになり、外国人の方が日本に在留するための法律や手続きについて興味を持ち始めました。昨年、行政書士事務所を開業してから本格的に勉強をはじめ、現在も日々精進しています。

④専門相談受付日時・相談内容

〈担当日は不定期〉

毎週火曜日・木曜日 10:00~12:00, 13:00~16:00

毎週土曜日 9:30~12:30

相談内容

ビザ・永住・帰化について

⑤一言

今年の7月9日から新たな在留制度がはじまりました。これまでの手続きとは異なるものもありますので注意が必要です。わからないことや不安なことがありましたらお気軽にご相談ください。日本に在留する外国人の方が安心して生活できるよう、少しでもサポートができれば嬉しいです。



ワールドクッキング教室を開催中！

世界の料理や文化を気軽に体験することができるワールドクッキング教室を開催中です。教室は月1回で、火曜日クラス・木曜日クラスの2クラスです。料金は3回で4,500円です。時間は10時～14時です。まだ若干名空きがありますので、興味のある方は是非、お問い合わせください。



ガーナ料理（平成24年11月）

【参考～後期開催内容】

	第3回 1月	第4回 2月	第5回 3月
日程	①15日(火) ②24日(木)	①19日(火) ②28日(木)	①19日(火) ②28日(木)
料理	エジプト料理	未定	バングラディッシュ料理

*日程や料理は、事情により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

平成24年度 世界まると体験デー開催(10時～14時 *フリーマーケットは9時半～)

平成25年2月2日(土)にひろしま国際プラザのお祭りを開催します！日本や世界の文化を「ステージ」や「遊び」「世界旅行クイズ」等を通して、楽しみながら学びませんか？

また、情報センター・図書室では10時から18時まで、保存年限の過ぎた外国語新聞・雑誌などを無料でご提供するリサイクルフェアも開催します。外国語の学習、国際理解にお役立てください。入場無料、事前申し込みは不要ですので、お気軽にご参加ください。

*通訳ボランティア・フリーマーケットの出店者もあわせて募集中！



(平成24年9月)

ホストファミリーのための講習会参加者募集！(10時～12時)

平成25年2月9日(土)にホストファミリーに興味がある親子向けのイベント（ご夫婦のみの参加も可）を開催します。ホームステイをより楽しむための親子英会話教室や、ホストファミリー体験談などを実施する予定です。興味のある方は、この機会にぜひご参加ください。

ホストファミリー募集中！

研修部では、日本語を勉強中の研修員を家族の一員として受け入れてくださるホストファミリーを募集しています。外国の方と接すると、自分の日常の中にたくさんの「！」や「？」があることに気付かされます。ホームステイを通して、外国とのつながりを作ってみませんか？家庭の中での異文化体験にチャレンジしてみたい方、お待ちしております!!

ミニコンサート出演者・ロビー展示出展者を募集中

研修部ではアフリカや中南米、アジアなど、世界各国からの外国人研修員に、特技や趣味を披露してくださる方を募集しています。レストランでの「ミニコンサート」で外国人研修員の夕食のひとつを彩り、「ロビー展示」で日本文化を紹介していただけませんか？ご希望の方は下記の連絡先にお問い合わせください。

【ミニコンサート】

日時：水曜日の午後6時半～7時まで

内容：歌、楽器の演奏、踊り等

【ロビー展示】

展示期間：1～2週間

展示内容：生け花、ふろしき作品、写真、素描等



★お申込み・問合せ先

財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

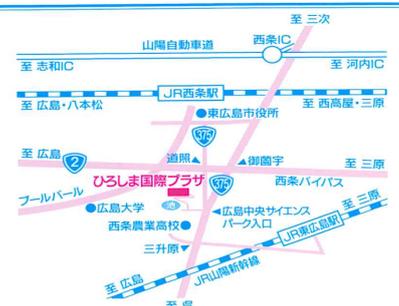
(電話082-421-5900 FAX082-421-5751)

・事務室開室時間 月～金 9:00～18:00

・情報センター・図書室開室時間 毎日 10:30～19:00 (平日は12:30～13:30休室)

URL: <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail: hicc@hiroshima-ic.or.jp



広島から世界へ！ 1月上旬より、広島県出身の青年海外協力隊員2人、シニア海外ボランティア1人の合計3人がカメルーン・モザンビーク・ミクロネシアへ向けて出発します！



《青年海外協力隊》（※左から氏名・派遣国・職種）

山本 主税 カメルーン 村落開発普及員
 中川 大輔 モザンビーク 農業土木

《シニア海外ボランティア》

中尾 文拡 ミクロネシア 溶接

赴任中の広島県出身 JICAボランティア(人)

区 分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	18	18	36
シニア海外ボランティア	19	0	19
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	2	2

平成24年11月30日時点



～カンボジアからの手紙 ～三原市立西小学校のみなさんへ～



青年海外協力隊 平成24年度派遣 カンボジア 小学校教諭 田中涼子隊員
 （三原市立西小学校からの現職参加）

スオスダイ！ ソクサバーイター？（こんにちは！ お元気ですか？）私は今年の6月から、青年海外協力隊員としてカンボジアのクラチェという小さな町で活動をしています。

みなさん、毎日楽しく学校に通っていますか？ 国語、算数、理科、社会、体育、図工、音楽…きっとそれぞれに好きな教科があって、その授業の時にはいつもよりワクワクして授業を受けているのではないかと思います。

カンボジアの小学校には、国語、算数、理科、社会、体育の5教科があります。あれ？ 何か気が付きますか？ …そう、カンボジアには、図工と音楽がありません。ただ、全くないわけではなく、社会の教科の一部として少しだけ行われています。また、体育は教科としては存在しているものの、グラウンドの状態が悪いなどの理由から授業を実施していない学校も多くあります。

このように、カンボジアの学校には、まだまだ改善しなければならない問題が多くあります。教科の問題だけではなく、学校や先生の数も足りないため、ほとんどの小学校は午前と午後の二部制になっていて、子どもたちは半日しか学校で学ぶことができません。そして、家の手伝いが忙しいなど、事情のある子は学校に行くことすらできないのが現状です。

私の配属先・クラチェ州小学校教員養成校には、小学校の先生になる学生たちが通っており、私はこの学校で、体育・図工・音楽を教えています。学生たちにとっては、子どもの頃にあまり学んでいない教科なので、どれも興味津々。学生たちが先生になった時に、これらの教科を楽しく教え、カンボジアの子どもたちが、体育や図工、音楽を通して心豊かに育ってくれることを願って、日々活動しています。

カンボジアと日本、いろいろと違いもありますが、同じところもたくさんあります。カンボジアの人たちも毎日白いご飯を食べているし、お箸も使います。子どもたちはお菓子が好きだし、人気のスポーツはサッカー。なにより子どもたちの笑顔はカンボジアも日本も同じ！ 広島でも寒い日がまだ続くと思いますが、みなさんも、毎日楽しく、大切に過ごしてくださいね。この遠く離れたカンボジアから、みなさんの元気な姿を思い浮かべながら、私も一生懸命頑張ります。

では、チュムリアップリア！（さようなら！）



プノンペン の北東部に位置するクラチェ



学生に図工を教える田中隊員

【国際協力出前講座のご紹介】

青年海外協力隊経験者やJICA関係者が、開発途上国での活動や生活の様子など、国際協力に関する体験談を『出前』しています。この講座を通じて世界の途上国の現状について知るだけでなく、日本が今後守っていかなければならない文化についても一緒に考えていきましょう。学校関係に限らず、地域活動に関わる方々からのご依頼も是非お待ちしております。HIC配置の国際協力推進員までお気軽にご相談ください。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/kaihatsu/demae/index.html>

1 会長挨拶

本年7月、広島県日中親善協会会長に就任いたしました加藤義明と申します。

当会は、広島県と中国四川省との友好提携が締結された昭和59年（1984年）9月17日、日中友好を願う多数の方々の発意により設立されて以来、28年にわたって、四川省を中心とする中国と広島との民間交流を推進し、中国との信頼関係を築いてまいりました。

昨今、日中関係が緊迫しておりますが、このような時こそ民間交流が重要であると考えており、これまで先輩の方々が築き上げてこられた信頼関係を大切にしながら、幅広い分野で、中国との一層の交流の促進に努めて参りたいと考えております。

関係各位におかれましては、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



会長 加藤義明

2 主な活動内容

①中国語講座の開講（通年）

中国からの留学生を講師として、4つのクラス（入門・初級・中級・上級）をそれぞれ週1回開催しています。語学のほかに、中国料理教室など楽しい行事も企画しておりますので、興味のある方はぜひご参加ください。（下記をご参照ください）

①中国語講座授業風景



②四川省での植林緑化事業（通年）

当協会では、毎年、社団法人日中緑化交流基金の助成を受け、カウンターパートである四川省人民対外友好協会とともに、四川省において植林緑化事業を行っています。

②③日中共同記念植樹式典 (H23.10 四川省南充市にて)



③友好訪中国の派遣（10月）

会員の皆様を中心とする友好訪問団を組織し、上記②の植林緑化事業に係る日中共同記念植樹を行うとともに、広島ゆかりの人との交流会や四川省内の大学の学生との交流等を行っています。

④懇親会（H24.7）



④総会・発表会・懇親会（7月）

旧年度の事業報告、新年度の事業計画案及び役員の変更等について、会員の皆様から承認をいただきます。また、この機会に、中国からの留学生等による音楽発表や懇親会を行い、会員相互の親睦を深めています。

⑤中国人留学生の送別・激励会（3月）

県内大学等を卒業する中国の留学生の送別会に合わせ、引き続き広島で勉強する留学生の激励会を開催しています。

⑤送別会・激励会（H24.3）



⑥情報誌「友好のかけ橋」の発行（年1回 6月1日付）

当協会や関連団体等の多彩な親善活動について紹介しています。

協会会員・中国語講座受講生を募集しています！

○協会会員 年会費 法人会員30,000円 個人会員5,000円

○中国語講座（平成24年度）

■開催日時：入門（木曜）、初級（火曜）、中級（月曜）、上級（水曜）

■場 所：不二ビルサービス研修室（広島市中区紙屋町1-5-15 広電紙屋町パーキングビル3F）

■受講料：月額5,000円（協会会員4,000円） 入会金不要、テキスト代は別途実費購入

広島県日中親善協会事務局

〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁国際課内 TEL・FAX 082-555-2495

E-MAIL hironicchu@nifty.com ブログ <http://hironicchu.exblog.jp/>

Upcoming Events News No.123

平成25(2013)年1月分

※それぞれの会員限定のものもあります。主催者にお問い合わせください。

日	内 容
26日 (土)	<p>『縮景園大福茶会』</p> <p>若水を汲んでお茶を点て、一年の無病息災を祈る恒例のお茶会です。 大福茶は薄茶の中に梅干、黒豆、山椒の実を入れたもので、縁起の良いお茶として新年によく飲まれます。 男子点前の凛々しさも見ごたえがあります。</p> <p>時 間 10:00~15:00 (受付時間) 場 所 広島県縮景園 参加費 1,200円 (別途入園料が必要) 問合先 上田流和風堂 担当者 藤原和人 (事務局長) TEL: 082-271-5307</p>

平成25(2013)年2月分

日	内 容
10日 (日)	<p>『縮景園梅見茶会』</p> <p>春を告げる梅の開花に合わせて、本席清風館と芳香漂う梅林に甘酒席を設けて開催する恒例のお茶会です。 園内には紅梅・白梅併せて17種類、約110本の梅の木があります。その内約100本が梅林にあります。</p> <p>時 間 10:00~15:00 (受付時間) 場 所 広島県縮景園 参加費 1,400円 (別途入園料が必要) 問合先 上田宗箇流和風会 担当者 佐々木育生 (事務局長) TEL: 082-271-5307</p>
16日 (土)	<p>Potluck Carnaval</p> <p>毎月開催している「Potluck Party」 2月はブラジルのカーニバルの月です。これは、本土ブラジルのカーニバルにあわせての企画です。 サンバや音楽でブラジルへ少しトリップして楽しみませんか。参加費は100円と格安で、あとは一品、はし、皿、コップなど食事に必要なものを持って来てください。持ち寄った料理や飲物は参加者でシェアして頂きます。いろいろな国の料理を食べながら、音楽やダンスなどを楽しみましょう。皆さんの参加をお待ちしています。</p> <p>時 間 18:00~21:30 場 所 安芸高田市吉田文化センター クリスタルアージュ 定 員 200名 参加費 100円+飲食持寄り 問合先 上岡真理 tabunkasuisin1@akitakata.jp 明木一悦 tabunkasuisin2@akitakata.jp TEL: 0826-42-5630</p>
16日 (土)	<p>ユニセフ講座ワークショップ「援助する前に考えよう」</p> <p>DEAR (開発教育協会) から講師を迎えて、参加型で援助のあり方を楽しく考えます。</p> <p>時 間 13:00~16:00 場 所 広島市西区民文化センター 2F大会議室A 参加費 無料 問合先 広島県ユニセフ協会 担当者 山本真左美 TEL: 082-231-8855 Email: unicef-hiroshima-06@theia.ocn.ne.jp</p>
24日 (日)	<p>みはら国際交流フェスタ17</p> <p>人と人との出会いを大切に、友だちづくりをきっかけに、心をつなげて、輪を広げようというのが願いです。</p> <p>内 容 ・4~5カ国の文化披露と体験&料理の試食体験 ・文化ふれあいタイム (ゲームなどを通じて出会いのきっかけづくり) ・パネルディスカッション (さまざまな国民性の理解)</p> <p>時 間 12:00~15:00 場 所 三原市中央公民館 (大ホール) 定 員 150名 参加費 (小学生以上) 500円 問合先 生涯サポートセンターめいと内 (人參の会事務局) 担当者 仁ノ内一義 TEL: 0848-64-5321 FAX: 0848-64-1483 Email: mate6331@muse.ocn.ne.jp</p>

日	内 容
3日 (日)	<p>第20回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト</p> <p>広島県東部在住の外国人留学生による日本語スピーチコンテストを実施します。留学生の視点から、日本や留学生の視点から日本や留学生活などについて発表するとともに、地域住民の国際理解・国際交流を深めます。</p> <p>時 間 第1部 13:30～16:00 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト（入場無料・予約不要） 第2部 16:30～18:30 交流会（参加費1,000円・要予約）</p> <p>場 所 福山市立大学 大講義室など</p> <p>参加費 無料（交流会1,000円・要予約）</p> <p>問合せ 外国人留学生を支援する会 事務局（福山YMCA内） 担当者 佐藤知子 TEL: 084-926-2211 Email: t-sato@hiroshimaymca.org</p>

国際交流ひろば

～ご寄付の御礼と感謝状の交付について～

平成24年9月15日(土)～17日(月)にマツダスタジアムで開催された「韓国グルメフェスティバル」(主催:駐広島大韓民国総領事館, (株)中国放送, (株)広島東洋カーブ)の売上金の一部を, 駐広島大韓民国総領事館主催の国慶日レセプション(10月4日)で, 当財団に50万円のご寄附をいただきました。ご厚意に深謝し, このたび3団体に対して感謝状をお渡しいたしました。いただいたご寄附は国際交流の事業推進に充てたいと思います。ご支援ありがとうございました。(河内)



(株)中国放送 奥村常務取締役 様



(株)広島東洋カーブ 松田取締役 様



駐広島大韓民国総領事館 総領事
辛 亨根 (シン ヒョングン) 様

予告

～多文化共生シンポジウムを開催します～ ※詳しくは, 同封の案内チラシをご覧ください!

外国人も日本人も, 互いをもっとよく理解し, 認め合い, 同じ地域を支える構成員の一人として, 能力を発揮できる社会(多文化共生)の実現のため, 具体的な取組み事例や, 外国人住民の生の声を聞き, 地域の明るい未来に向けて今, 私たちができることを一緒に考えてみませんか?

■日 時: 平成25年2月9日(土) 13:00～16:30 (12:30開場)

■場 所: 広島国際会議場 地下2階 中会議室「コスモス」

<第1部> 13:00～「基調講演」 講師 田村 太郎 氏 (NPO法人多文化共生センター大阪 代表理事)

<第2部> 14:00～「パネルディスカッション」

パネリスト 伊藤 美智代 氏 (日本語教室「ひまわり21」副代表)

ギョーム ラモテ 氏 (広島県国際交流員)

服部 居宣 氏 (ひろしま国際センター専門相談員)

村田 民雄 氏 (多言語放送『地球市民』ディレクター)

明木 一悦 氏 (安芸高田市多文化共生推進員)

コーディネーター 田村 太郎 氏

By Guillaume Lamothe

「日本には、お金がないわけではない」

総選挙もあり、日本の経済の再生が海外からも注目されています。アメリカの有名な経済分析雑誌「Forbes Magazine」(フォーブズ・マガジン)は日本への悲観的な見方に対して疑問を挙げています。それについて説明しましょう。

Happy New Year! It's 2013, the year of the snake, my astrological sign! I wonder if anything particularly good will happen to me this year. Of course, I can't know yet, since when I am writing, it's still December 2012 and...what? There's an election here? I can't vote, but I still thought I should get informed. After all, since I live in Japan, I think it is important for me to understand the issues that this country faces.

Now, everyone knows that one of the biggest issues is the economy. In 2012, the Japanese economy shrank by a total of 3.5%, and it is now officially in a recession. Although the Japanese government has said that it is hoping for a growth of 2% in 2013, its estimates have been overly optimistic before, and there are many uncertainties (such as Europe) that could seriously affect Japanese growth. So, overall, the outlook seems to be pretty gloomy.

“But not so fast”, says the famous financial magazine, Forbes. In an April article entitled: “If Japan is Broke, How is it Bailing out Europe?” Forbes magazine argued that Japan's economic situation was more complicated than many people (including many Japanese) made it out to be. According to the magazine, while many people often focus on the huge liabilities of the Japanese government, which has a debt of over 230% of annual GDP, (by far the largest in the industrialized world; the US, by comparison, is at just over 100%), what is often overlooked is the Japanese government's equally huge assets.



In fact, what most people do not realize is that Japan was the largest non-Euro Zone contributor to the 2012 Euro rescue effort: the country donated \$60 billion, or almost 14% of the total amount pledged. To compare, the United States gave...not one single dollar!! But wait... if Japan's finances are so bad, then how could it afford to give so much money to Europe?

The answer is quite interesting, and hints that the officials at the Japanese Ministry of Finance might just be more astute than many people believe. You see, with all the trouble in the Euro Zone and the economic uncertainty in the United States, Japan, and the Japanese yen, are seen by many investors and foreign governments as a “safe haven.”

Because of this, the Japanese government is currently able to issue 10-year government bonds at a higher rate than it borrows them. This means that, while Japan bought \$60 billion in 10-year European bond debt at 1.6% interest rates, it was able to issue its own bonds to cover that purchase at...1% interest rates, making a 0.6% profit. This is not only happening with European debt; contrary to the expectations of many analysts, the Japanese government actually bought more debt from most of its debtor countries, constantly making money in the process.

Don't get me wrong; I think there are many worrying trends in Japan. Major Japanese companies are not doing very well, and a shrinking population does not bode well for the future. However, Japanese finances should not be taken at face value. The Japanese economy has been declared dead many times before, and has always survived. Japan, I think, still has some tricks up its sleeve.

Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
<u>Jan.</u>		
8th	Tondo Festival – Ritual burning and carrying of massive bound-up cones of dried bamboo.	Hiroshima City – Gokoku Shrine – right next to Hiroshima Castle
20th	Momote Festival – Ritual archery festival to celebrate the new year.	Miyajima–Omoto Shrine, 11AM
<u>Feb.</u>		
3rd	Setsubun Festival – Ritual scattering of beans to ward off demons.	Hiroshima City – Gokoku Shrine, 3:30PM
10th-12th	Daruma Festival – Daruma dolls in every imaginable type and size!	Mihara City – Also the home of the Daruma Museum!
<u>March</u>	Kiyomori Festival – Samurai-themed processions and festivities!	Miyajima–Itsukushima Shrine
<u>Jan.-Feb</u>	Oyster Festivals – If you live close to the ocean, enquire about Oyster Festivals in your area!	Across the Prefecture – ask for “Kaki Matsuri” in your area !

Editor's notes:

Do you know what I like? Light displays! As corny as they sometimes are, I always fall for the many illuminated decorations hung up around Hiroshima this time of year. They really help get me through December, in the last few weeks before Winter vacation. As always, if you have any questions or comments, please email me at hic05@hiroshima-ic.or.jp

HIC交流部からのお知らせ

■留学生支援奨学金へのご協力をお願い

広島県内には、現在2,200名(大学・短大のみ)を超える外国人留学生がありますが、私費留学生の生活は以前にも増して厳しくなっております。

このような状況の中で留学生が安心して勉学に励むため、(財)ひろしま国際センターでは以下のような留学生への奨学金支給事業を行っています。皆様のご支援・ご協力をお願いします。

県民支援留学生奨学金(外国人留学生支援の会)

県民の皆様から1口5,000円/年のご寄附をいただき、いただいたご寄附を合わせて留学生1名当たり月額3万円の奨学金を1年間支給します。72口のご寄附が集まると1名の留学生に奨学金を支給することができます。ご寄附は随時受け付けております。

なお、当センターは、特定公益増進法人(所得税法施行令第217条第1項第3号及び法人税法施行令第77条第1項第3号に掲げる法人)として認定されており、ご寄附については、税制上の特例措置を受けることができます。



個人・団体等の寄附
寄附金額: 1口5,000円/年(何口でも可)



財団法人ひろしま国際センター



留学生奨学金
奨学金金額: 月額30,000円(年間360,000円)



〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL: (082)541-3777 FAX: (082)243-2001
URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>
(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>
E-mail: hic@hiroshima-ic.or.jp

